

処方例についての記載事項の種類及びその件数

【内用錠剤の処方例】

降圧薬のニルバジピンを原薬量として4mgを1日2回に分けて朝食後と夕食後に服用するよう処方したい。ニルバジピン錠2mgの製品(製品名:ニバジール錠2mg)を14日分処方する場合、処方せんにはどのように記載されますか?

【研究班の想定した現状(1日量)での記載例】

ニバジール錠2mg 2錠 分2 朝夕食後 14日分

【参考:研究班提案する標準案(1回量)での記載例】

ニバジール錠2mg 1錠 1日2回朝夕食後 14日分

薬品名	件数
ニバジール(2)	35
ニバジール(2mg)	19
ニバジール錠2mg	11
ニルバジピン(2)	9
ニバジール錠(2mg)	8
ニバジール2mg	7
ニルバジピン(2mg)	3
ニバジール錠(2)	2
ニバジール	1
ニハルジピン(2mg)	1
ニルバジピン	1
ニルバジピン錠2mg	1

分量	件数
2T	68
2錠	16
2tab	5
4mg	3
(2T)	2
2C	1
II	1
4T	1
記載なし	1

日数	件数
14日分	35
/14T	9
14TD	7
(14)	5
14T	5
14日	5
×14日分	4
/14TD	2
/14Td	2
／14日分	2
×(14)	2
×14T	2
14	1
G14TD	1
/14ds	1
×14days	1
×14TD	1
×14日	1
〇月〇日から14日間	1
14d	1
14Td	1
(14)	1
g 14 TD	1
g 14TH	1
g14TM	1

(出典:平成18年度研究報告書)

処方せんの記載方法に関する医療安全対策の検討(主任研究者:齋藤壽一)

【内用・散剤の処方例】

心不全治療薬のジゴキシンを原薬量として0.15mgを1日3回に分けて毎食後に服用するよう処方したい。ジゴキシン散0.1%の製品（製品名：ジゴシン散0.1%）を14日分処方する場合、処方せんにはどのように記載されますか？

【参考：研究班提案する標準案（1回量）での記載例】

ジゴシン散0.1% 0.05g 1日3回 每食後 14日分

薬品名	件数
ジゴシン散(0.1%)	37
ジゴキシン散(0.1%)	16
ジゴシン散	8
ジゴキシン	6
ジゴキシン散	5
0.1%ジゴキシン散	5
ジゴシン1000倍散	2
ジゴシン散0.1% (1mg/g)	2
（以下は件数1件のもの）	
ジゴシン散0.1, ジゴシン(0.1)	
ジゴキシン(0.1)	

分量	件数
0.15mg	40
0.15g	12
1.5g	6
150mg	4
0.15mg 力価	4
0.15	2
（以下は件数1件のもの）	
0.15mg (ジゴキシンとして), 0.15g(0.15mg) 5mg, 1.5mg, 0.45mg, 0.45(g), (0.15mg)	
0.15g (力価として0.15mg), (0.05mg) 3P	
0.15mg または0.15g, 0.15mg (原末)	
0.15mg (成分量), 0.15mg (実薬量), 1.5 0.15mg 原薬量で記載, 0.15(0.15mg)	

用法	件数
3xN	14
3x	7
3xnde	6
1日3回毎食後	4
分3后	3
分3後	3
分3各食後	2
3x毎食後	2
3×食後	2
3×1	2
1日3回朝・昼・夕食後	2
/分3 食後	2
/3xnde	2
/3xn	2
/3x	2

（以下は件数1件のもの）
 每食後すぐ, 分子毎食後, 分3 每食後, 分3
 分3 : 朝昼夕食後30分, 分×3 每食後
 3回 : 朝, 昼, 夕食後, 3x 朝, 昼, 夕食後
 3X 各食後, 3×后, 3×1 每食後,
 [分3]1日3回毎食後, /每食後
 /分3 後, /分3 nde, /分3 , /Nx, /N3x1
 /3食後, /3x 每食後, /3 nde, 空欄

(出典: 平成18年度研究報告書)

処方せんの記載方法に関する医療安全対策の検討(主任研究者: 斎藤壽一)